

科目名		開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
成人看護学実習Ⅱ		前後期	3年	必修	3単位	135h
担当教員名		メールアドレス		オフィスアワー		
◎掛谷和美、大川滋美		kazumi.kakeya@tohto.ac.jp		月～金曜（10時～16時）メールで事前アポイントを取ること		
授業の概要						
主として慢性的経過をたどる疾患・障がいにより治療を要する対象、並びに終末期にある対象への看護を、病棟での受け持ち看護実習を通して学ぶ。さらに、成人期にある対象が健康障がいとともに生活していくための支援や、健康障がいをもちながらその人らしく生活していくための支援に関する基礎的な看護を学ぶ。 ＊この科目は看護師の実務経験のある教員による授業科目です。						
キーワード		到達目標				
成人期 セルフマネジメント セルフサポートシステム 成人学習理論 自己効力感 エンパワメント セルフケア不足理論 学習の動機づけ 自己概念 ボディ・イメージ		1.看護の対象者を全人的に理解することができる。 2.看護の対象者の健康状態に応じた看護上の問題を特定することができる。 3.看護上の問題の解決に向けた看護計画を立案することができる。 4.対象者の状況や個別性に合わせた看護を実施することができる。 5.実施した看護について適切に評価することができる。 6.チーム医療の実際を学び、チームにおける看護職の役割と多職種連携の重要性を述べることができる。 7.看護学生としての立場と責任を理解し、それに相応しい行動をとることができる。				
学習内容						
【実習方法】・成人看護学実習オリエンテーション（日程は別途お知らせします） [1週目] ・学内オリエンテーション ・臨地：病院・病棟オリエンテーション ・病棟実習（情報収集、アセスメント、関連図） ・カンファレンス [2週目] ・病棟実習：（看護援助、情報収集、看護計画立案） ・病棟実習（健康教育などの活動への参加） ・カンファレンス [3週目] ・病棟実習（看護計画の実施、評価、看護計画の修正） ・実習のまとめと最終カンファレンス						
受講要件						
2年次後期までの学年進捗とされているすべての必修科目の単位を修得していること。						
レポート		その他		合計		
80%		20%		100%		
教員からのメッセージ						
受け入れてくださる患者さんを第一に考え、また病院・病棟スタッフへの感謝の思いを持つとともに、機会を活かして、自らの学びを最大化することを目指してください。						